

第2学年 社会科学習指導案

1 単元名 「近代日本の国際的地位の向上」

2 指導観

- 現在の日本の政治は、今回の衆議院総選挙における政権交代により関心が高まりつつある。しかしながら20代を中心とした若い世代には、政治に対して無関心な傾向が見られる。現代のような変化の激しい時代には、常に社会の変化に関心を持ち、広い視野に立って、確固とした考えをもつことが必要とされる。その中で、平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚が求められるのである。

本単元は、小学校において、大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを学習している。中学校ではこれに加え、自由民権運動や大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させることをねらいとしている。

特に、現代の民主政治につながるさまざまな事象についての歴史的意義を、当時の国内外の情勢をもとに多面的・多角的に考察することは、変化の激しい時代を生きる生徒にとって、たいへん意義深いものであると考える。

- 事前調査によると、本学級の生徒で社会科に興味をもっている生徒は全体の約56%、分野別にみると歴史的分野が好きという生徒が約75%で、社会科に苦手意識をもった生徒はいるが、歴史的分野には比較的興味をもっている生徒が多くいることがわかる。社会科が苦手な理由として「言葉を覚えられない」「暗記が苦手」などの理由を挙げ、暗記科目として社会科をとらえる傾向がある。また、歴史的分野に興味がある理由としては「歴史上の人物に興味があるから」という意見が多く、小学校の授業で歴史上の人物の紹介文を書いたり、人物カルタを行ったことが影響しているようである。

小学校ではこの時期に活躍した人物（大隈重信・板垣退助・伊藤博文・陸奥宗光・東郷平八郎・小村寿太郎）について学習しているが、事前調査では、伊藤博文・板垣退助はすべての生徒が名前を知っていると答えており、その他の人物については54%にとどまっている。また人物の業績については、伊藤博文・板垣退助については40%の生徒が知っていると答えているが、他の人物については答えられる生徒はほとんどいなかった。

本学級で、1学期の地理の時間に言語活動として世界の国々の発表を行ったところ、自分なりに考えをまとめて発表できる生徒は少なかった。また、授業中に発表する生徒にも偏りがみられる。

- 本単元の指導にあたっては、小学校での学習を踏まえて行うが、ほとんどの生徒が人物の名前や功績について十分に理解していないことを配慮する必要がある。そこで、小学校の教科書を使用して、自由民権運動から条約改正までの大きな流れを、活躍した歴史上の人物に焦点をあてながらつかませ、我が国の国際的地位が向上したことを理解させたい。

次に「近代日本の国際的地位の向上に最も貢献した人物は誰か」というテーマで人物の功績について調べさせる。その際、調べ方やまとめ方がうまくいかない生徒にはT2が資料の選び方やワークシートへの書き込み方を支援する。さらに単に人物の功績だけを調べさせるのではなく、立場の違う人々や外国からみた場合など、多面的・多角的に考察させる。

最後に、調べたことを発表させるとともに、他人の意見を聞く大切さを学習させたい。また、自分の考えを発表することが苦手な生徒に配慮して、ネームプレートを使用することで、自分の意見を表明することを容易にさせたい。

3 目標

- 近代日本の国際的地位の向上に関わった歴史的な事象や、人物についての関心を高め、その功績について意欲的に追究することができる。
(関心・意欲・態度)
- 近代日本の国際的地位の向上に関わった歴史的な事象と人物の功績について多面的・多角的に考察し、その歴史的意義について価値判断ができる。
(思考・判断)
- 近代日本の国際的地位の向上に関わった歴史的な事象と人物の功績について、さまざまな資料をもとに検討し、その成果と課題を発表することができる。
(資料活用・表現)
- 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを説明することができる。
(知識・理解)

4 単元計画（6時間） 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 資：資料活用・表現 知：知識・理解

次	配時	学習活動・内容	留意点（手だて）	評価規準
一	3	<p>1 自由民権運動から条約改正までの歴史の大きな流れをつかみ，学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動 大日本帝国憲法の制定 日清，日露戦争 条約改正 	<p>○小学校で使用した教科書を用いて，関わった人物や，歴史の大きな流れをつかませる。</p> <p>○世界の歴史と比較しながら，日本の歴史の大きな流れをつかませる。</p>	<p>知：自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを通して，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的地位が向上したことを説明することができる。</p>
		<p>学習課題 近代日本の国際的地位の向上に最も貢献した人物は誰か</p>		
二	2	<p>2 課題を探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大隈重信 板垣退助 伊藤博文 陸奥宗光 東郷平八郎 小村寿太郎 	<p>○学習課題に対する自分の考えを明確にさせるため，自分の考えに基づいて調べ学習を行わせる。</p> <p>○グループの中で役割を分担し，協力しながら調べ学習を行わせる。</p> <p>○調べ方やまとめ方がうまくいっていないグループには，助言を行う。</p>	<p>関：近代日本の国際的地位の向上に関わった歴史的事象や，人物についての関心を高め，その功績について意欲的に追究することができる。</p> <p>資：近代日本の国際的地位の向上に関わった歴史的事象と人物の功績について，さまざまな資料をもとに検討し，その成果と課題を発表することができる。</p>
三	1 本 時	<p>3 学習課題について調べた内容を発表し，考えを深める。</p> <p style="text-align: center;">〈予想される争点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 内政と外交による評価 諸外国の評価 国内外の情勢 現代とのつながり <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○ワークシートにそって調べたことを発表させる。</p> <p>○他のグループの考えを聞き，考えが変わった生徒は発表させる。</p> <p>○生徒の考えをゆさぶる補足資料の提示を行う。</p>	<p>思：近代日本の国際的地位の向上に関わった歴史的事象と人物の功績について多面的・多角的に考察し，その歴史的意義について価値判断ができる。</p>
		<p>学習を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての人の功績が重要で，ランキングをつけるのが難しかった。 人物を調べることによって，歴史的な事象を深く理解することができた。 など 		

5 本 時 平成21年10月7日(水)

視聴覚室にて

(1) 本時の指導観

前時までに、生徒は自由民権運動から条約改正までの大きな流れの中で近代日本の国際的地位が向上したことを理解している。本時ではまず、人物写真と年表を使って歴史の大きな流れの中で、6人が行ってきた功績を復習する。

次に小学校で学習した大隈重信・板垣退助・伊藤博文・陸奥宗光・東郷平八郎・小村寿太郎について、「近代日本の国際的地位の向上に最も貢献したのは誰か」というテーマのもと、ワークシートにそって人物の功績の成果と課題について発表し、ランキングを行う。(1位1人、2位2人、3位3人)

その際、自分の意見を発表することが苦手な生徒に配慮して、ネームプレートを使用して自分の考えを表明させる。また生徒の考えを揺さぶるために、状況に応じて補足資料の提示を行う。

最後に、最も貢献した人物を選ぶ難しさ、現代社会とのつながりから、6人すべての人物の功績が必要不可欠であったことに気づかせたい。

(2) 主 眼

○6人の人物の貢献度ランキングを通して、近代日本の国際的地位の向上に多くの人々が関わり、現代社会につながる歴史的意義に気づくことができる。

(3) 準 備

①人物写真 ②年表 ③ワークシート ④ネームプレート ⑤補足資料

(4) 過 程

学習活動・内容	準備	手だて(○)と評価(◇)	形態	配時
1 これまでの学習内容をふりかえる。 (人物・事象の確認) ・大隈重信 (立憲改進黨の結成) ・板垣退助 (自由民権運動) ・伊藤博文 (大日本帝国憲法の制定) ・陸奥宗光 (治外法権の撤廃) ・東郷平八郎 (日露戦争) ・小村寿太郎 (関税自主権の回復)	①・②	○6人の人物写真を提示し、事象と結びつけさせる。(T1) ○年表を使って、歴史の大きな流れを振りかえらせる。(T1)	一斉	5分
めあて 調べたことをもとに、近代日本の国際的地位の向上に貢献した人物について発表し、考えを深めよう。				
2 調べたことをもとに近代日本の国際的地位の向上に最も貢献した人物について発表する。 ・人物の功績 ・成果と課題	③	○ワークシートにそって、調べたことを発表させる。(T1)	グループ	15分
3 貢献度ランキングをつけ、その理由を発表する。 (予想される争点) ・内政と外交による評価 ・諸外国の評価 ・国内外の情勢 など	③・④	○他の人の意見を聞き、1位1人、2位2人、3位3人とランクをつけ、その理由を考えさせる。(T1) ○生徒の考えをゆさぶる補足資料の提示を行う。(T2)	一斉	15分
4 さまざまな資料を通して、近代日本の国際的地位の向上にたくさんの人々が関与し、成果とともに多くの課題が残ったことを知る。	⑤	○課題の部分の発表を聞いて、考えが変わった人は、ネームプレートを移動させる。 (T1・T2)	一斉	10分
5 本時の授業の感想を書き、発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 〈予想される感想〉 ・全ての人の功績が重要で、ランキングをつけるのが難しかった。 ・人物を調べることによって、歴史的な事象を深く理解することができた。 </div>	③	◇事象や人物が日本の国際的地位の向上にはたした歴史的意義を、さまざまな点を考慮して、明らかにすることができたか。 (学習プリント分析)	一斉	5分

2 学年「近代日本の国際的地位の向上」評価基準表

関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 資：資料活用・表現 知：知識・理解

配時	学習活動・内容	評価基準 〈評価方法〉	評価基準	
			A	B
3	<p>1 自由民権運動から条約改正までの歴史の大きな流れをつかみ、学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動 大日本帝国憲法の制定 日清、日露戦争 条約改正 <p style="text-align: center;">学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 近代日本の国際的地位の向上に最も貢献した人物は誰か </div>	<p>知：自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことが説明できる。</p> <p>〈学習プリント・小テスト〉</p>	<p>近代日本の国際的地位の向上に関与した、それぞれの歴史事象と人物の功績をまとめ、歴史の大きな流れの中で説明することができる。</p>	<p>近代日本の国際的地位の向上に関与したそれぞれの歴史事象をまとめ、歴史の大きな流れの中で説明することができる。</p>
2	<p>2 課題を探究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大隈重信 板垣退助 伊藤博文 陸奥宗光 東郷平八郎 小村寿太郎 	<p>関：近代日本の国際的地位の向上に関与した歴史的事象や人物に関心をもち、その功績について意欲的に追究している。</p> <p>〈様相観察・学習プリント分析〉</p>	<p>日本の国際的地位の向上について、それぞれの人物の立場になって想像し、自分なりの見解を持って、意欲的にワークシートなどにまとめようとしている。</p>	
		<p>資：近代日本の国際的地位の向上に関与した歴史的事象や、人物の功績について、複数の資料に基づき、その成果と課題をまとめ、発表することができる。</p> <p>〈学習プリント・発表〉</p>	<p>近代日本の国際的地位の向上に関与した、それぞれの歴史事象や人物の功績を、複数の資料をもとに政治の面からとらえその成果と課題を自分の言葉でまとめ、発表することができる。</p>	<p>近代日本の国際的地位の向上に関与した、それぞれの歴史事象や人物の功績を複数の資料をもとに、その成果と課題を自分の言葉でまとめ、発表することができる。</p>
1	<p>3 学習課題について調べた内容を発表し、考えを深める。</p> <p style="text-align: center;">〈予想される争点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 内政と外交による評価 諸外国の評価 国内外の情勢 現代とのつながり <p style="text-align: right;">など</p>	<p>思：近代日本の国際的地位の向上に関与した歴史的事象や人物の功績について、多面的・多角的に考察し、その歴史的意義について価値判断ができる。</p> <p>〈学習プリント・発表〉</p>	<p>具体的な資料をもとに国内外にもたらす影響や現代社会とのつながりを指摘し、近代日本の国際的地位の向上に最も貢献した人物を言及することができる。とともに、他の事象・人物の歴史的意義を自分の言葉で説明することができる。</p>	<p>具体的な資料をもとに国内外にもたらす影響や現代社会とのつながりを指摘し、近代日本の国際的地位の向上に最も貢献した人物を言及することができる。</p>